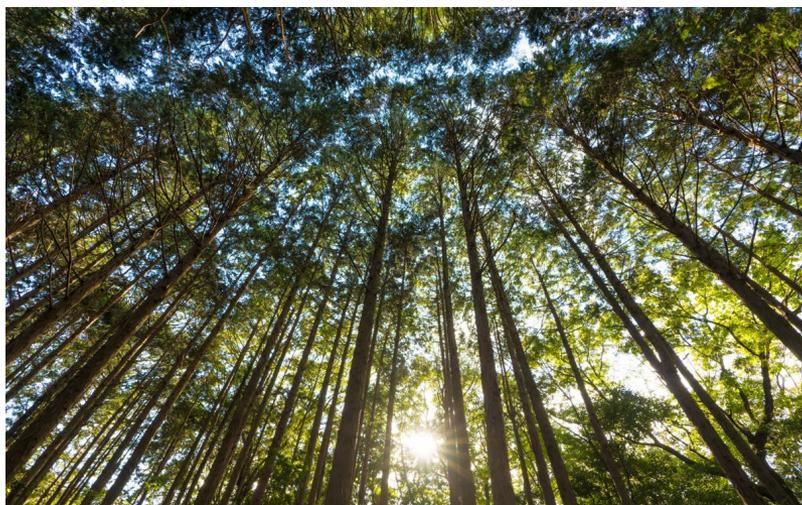


# 個人投資家向け会社説明



株式会社やまびこ（東証プライム：6250）

2025年9月5日

1. やまびことは？
2. 事業説明
3. 中期経営計画
4. 業績・株主還元
5. 本日のまとめ

# 1. やまびことは？

設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町1-7-2
売 上 高	164,838百万円（2024年12月期連結）
連結子会社数	13社※（国内6社・海外7社／2024年12月末現在） <small>※持分法適用関連会社1社を除く</small>
従 業 員 数	3,070名（2024年12月末現在／連結）
上 場 市 場	東京証券取引所プライム
証 券 コ ー ド	6250

# やまびこの歩み



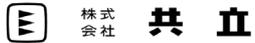
世界初となる手持ちブロウに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発



## 子会社

**ECHO** エコー・インコーポレイテッド  
設立 1972年 (昭和47年)

(株)共立が1972年に前身となるアメリカ共立を設立  
50年以上にわたり米国市場で事業を展開



設立 1947年 (昭和22年)

**YAMABIKO**  
株式会社やまびこ

設立 2008年 (平成20年)

## 新ダイワ工業株式会社

設立 1952年 (昭和27年)



電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発

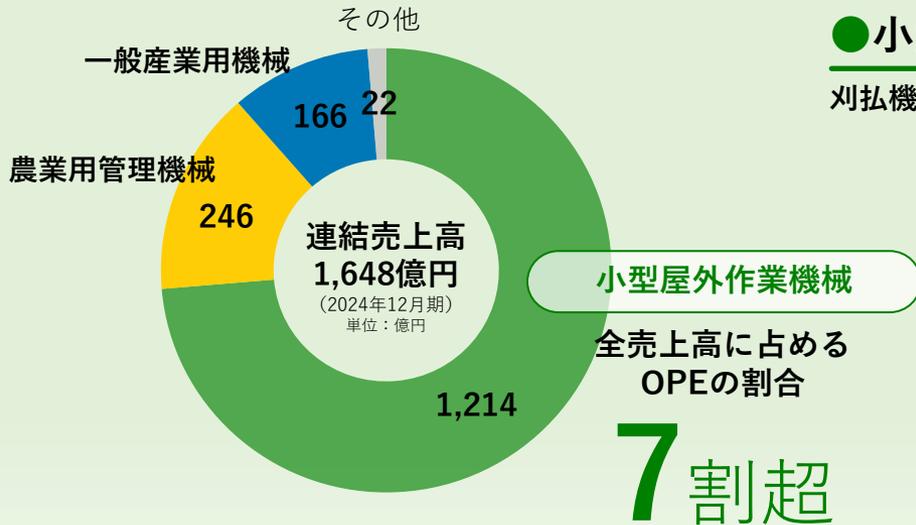


2000年代の排出ガス規制強化・業界再編のなかで、歴史と実績のある2社が合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立



# 小型屋外作業機械（OPE）を中心に3事業を展開

## グローバルに展開する屋外作業機器の総合メーカー



### ● 小型屋外作業機械（Outdoor Power Equipment）

刈払機、チェーンソー、パワーブロワ、ロボット芝刈機など



### ● 農業用管理機械

防除機、ラジコン草刈機など



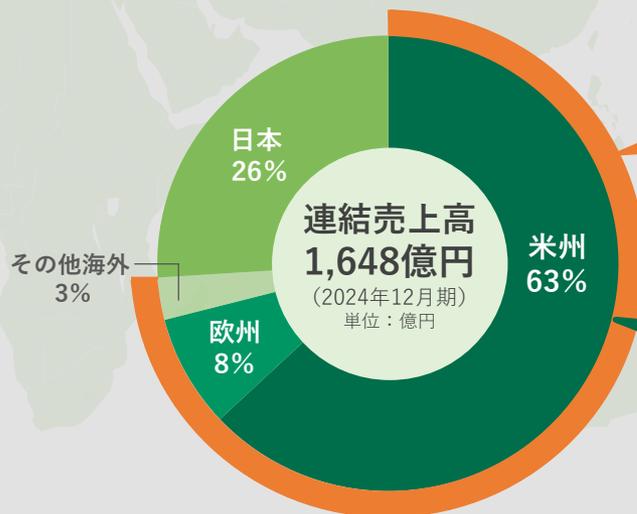
### ● 一般産業用機械

発電機、溶接機など



## 海外売上高比率 7割超

主力のOPEは海外での需要が高く  
海外の売上高比率は7割を超えています。  
特に米州の売上は、全体の6割を占めます。



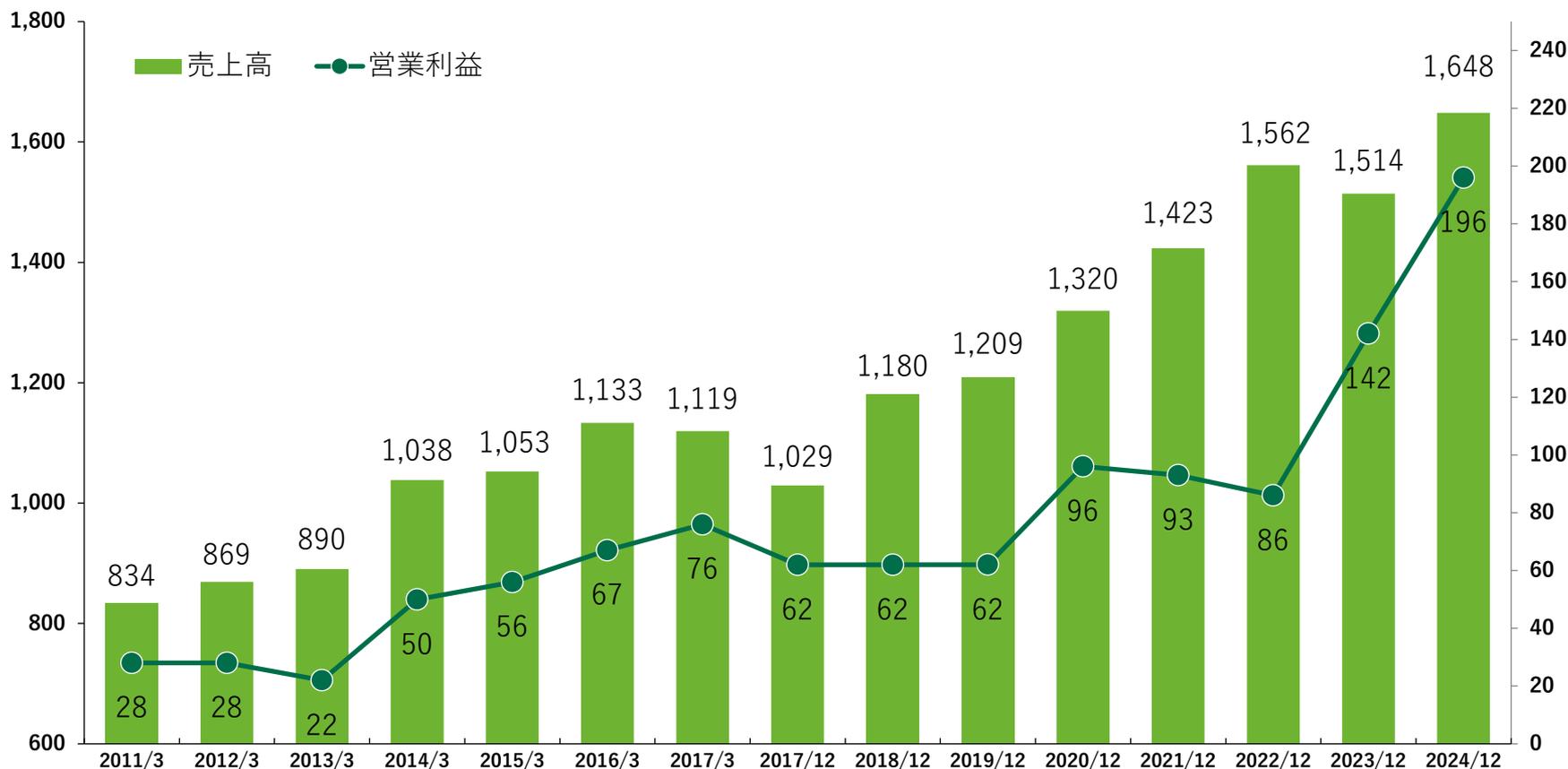
海外比率  
74%

米州が  
全体の6割

## 売上高・営業利益ともに順調に成長

(売上高：億円)

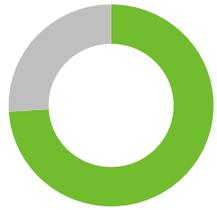
(営業利益：億円)



※決算期変更により9カ月決算

## 2.事業概要

# 事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）①



売上高構成比

**73.7%**

(2024年12月期)

OPEの動力源にはエンジンやモーターを搭載  
高出力で高耐久、操作性に優れる当社製品は作業効率  
の高さからプロユーザーに支持されている

刈払機



チェーンソー



パワーブロウ



ロボット芝刈機



## エンドユーザー

海外



緑地管理業者



ホームオーナー

国内



農家



林業家

※OPE (Outdoor Power Equipment)

## 海外OPE事業の成長を支える2つの要因

世界最大のOPE市場である  
米国における強固な事業基盤



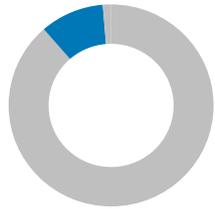
- ✓ 米国は日常的な緑地管理が文化として根付く世界最大のOPE市場
- ✓ 1972年から50年以上にわたり事業を展開
- ✓ 全米最大のホームセンターをはじめとした幅広い流通網を構築

緑地管理の専門業者（プロユーザー）の  
作業ニーズを満たす製品開発



- ✓ プロのニーズを満たす高品質・高耐久な製品
- ✓ 独自の環境対応技術で小型エンジンの厳しい排ガス規制をクリア
- ✓ 動力源を問わず作業効率の高い製品を開発

# 事業セグメント：一般産業用機械



売上高構成比

**10.1%**

(2024年12月期)

建設工事・防災・減災のほか  
資源採掘現場やイベント会場等で用いられる  
機械の製造販売



ハイブリッド溶接機

2023年度省エネ大賞受賞

CO<sub>2</sub>排出量を約**60%**削減  
脱炭素社会へ貢献する革新の溶接機



発電機



投光器

## 技術的な強み



世界初の三相/単相3線  
切替なし同時出力可能  
(米国特許・国内特許取得済み)



「ダブルECO」  
低燃費・騒音排出ガス効果に優れた2つのエコ機能の開発

# 事業セグメント：農業用管理機械



売上高構成比

15.0%

(2024年12月期)

国内における防除機械、  
北米における農作物収穫機械の製造販売

乗用管理機



スピードスプレーヤ



ラジコン草刈機



ポテト収穫機(北米)



## 技術的な強み

培った防除技術にICTを融合し、  
スマート農業に貢献

### 送風・噴霧・散布技術

- 防除環境に最適な散布を実現
- やまびこノズルで農薬飛散を低減



やまびこノズルの噴霧状態（扇形状）  
(平均粒子径110~270 $\mu$ )



### ICT

- 全球測位衛星システムにより圃場内に農薬をムダなく散布
- 圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術



# 国内・海外のユーザー

国内・海外で多様なお客様に製品を提供し、緑地管理と街づくりに貢献

## 国内のエンドユーザー



農家

建設・土木・  
鉄工業者



林業家

## 海外のエンドユーザー



緑地管理業者



ホームオーナー



農家・林業家

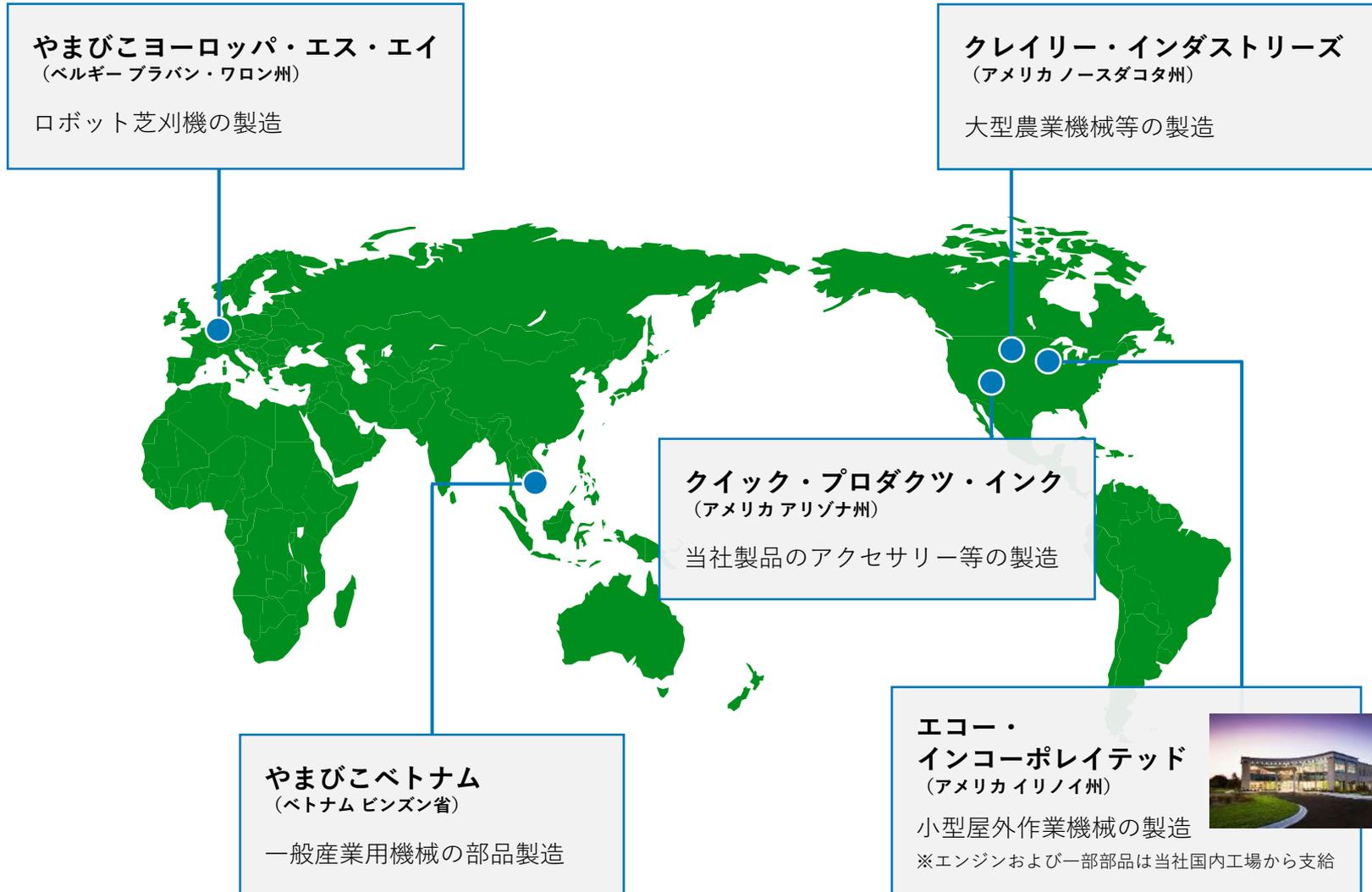


建設・土木業者

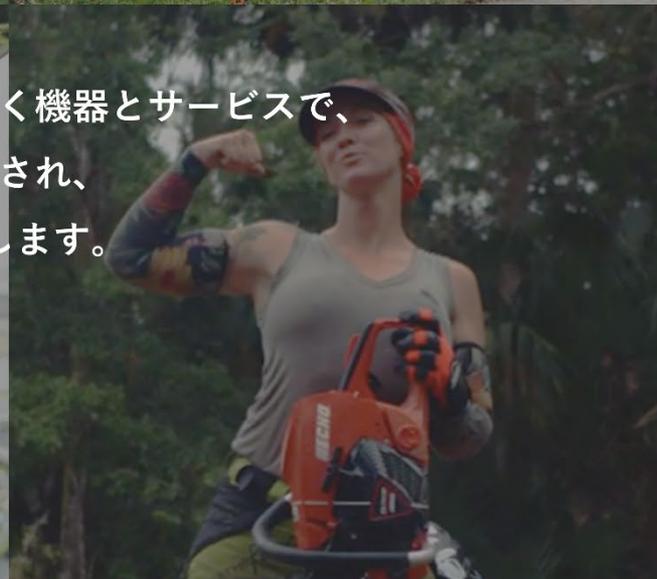
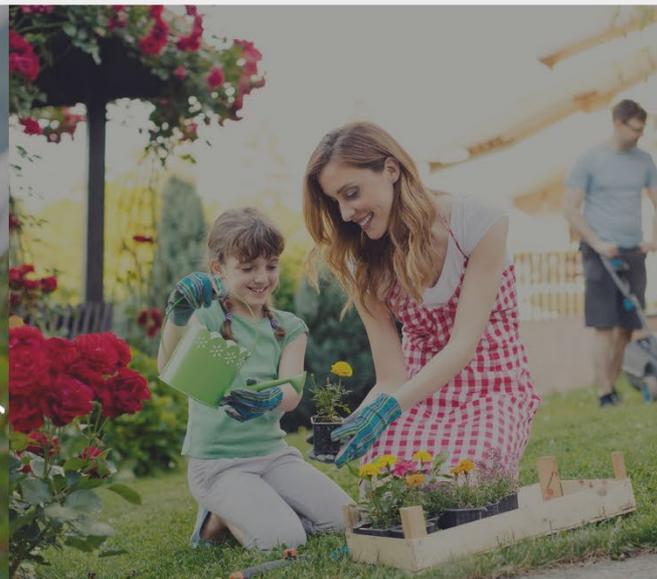
# 国内生産体制



# 海外生産体制



# 3.中期経営計画



# 中期経営計画2025の位置づけ



企業理念と経営目標の実現に向けて、事業戦略に基づく諸施策に取り組む

## 既存事業領域

1

**事業規模拡大**  
(既存事業領域の成長)

環境対応技術や  
アライアンスを通じ  
市場の課題解決に寄与

2

**収益性の改善**  
(稼ぐ力の向上)

生産効率・営業効率  
の改善に取り組む

## 新規事業

3

**新規事業創造  
への取り組み**

新規開発テーマや  
アライアンスを推進

4

**ESG経営の実践**

事業戦略に加えESG経営に取り組み  
社会課題の解決に貢献

5

**やまびこのDX戦略**

デジタル技術を活用し中長期的な  
企業価値向上を目指すDX戦略を策定

# ①事業規模拡大（海外OPE事業）

先進国で唯一人口増加が見込まれ、持続的成長を続ける米国の経済成長に支えられる米国のOPE市場は今後も成長が予想される

## 米国の関連市場規模

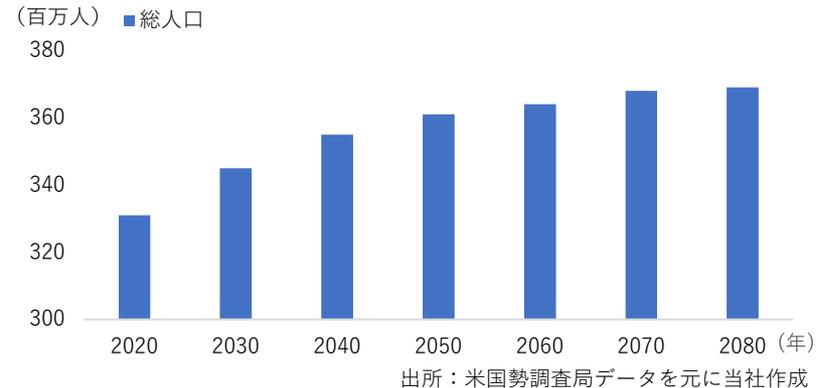


## 手持ち製品市場

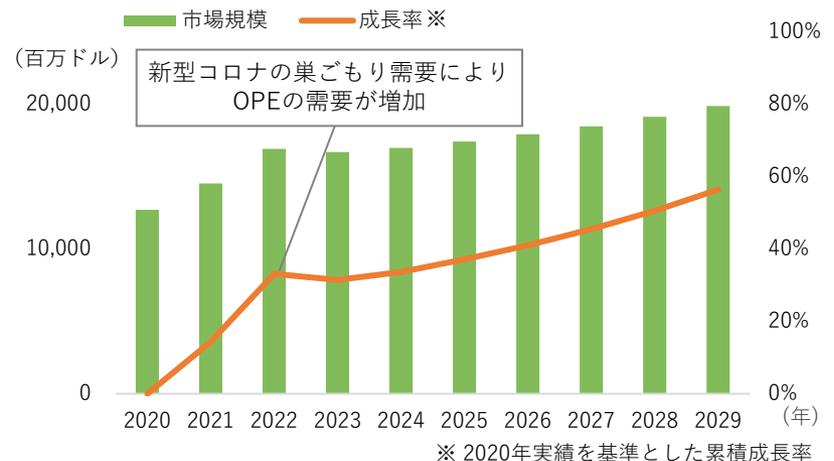


※1 Markets and Markets のデータより当社推計

## 米国の総人口推移



## 北米のOPE市場規模・成長率の推移



## ①事業規模拡大（海外OPE事業）

## 海外OPE事業

## ■ 北米市場 ■ 欧州市場

- 北米市場は全米でテレビCMを放映  
一般ユーザーへの訴求を強化したことで  
ホームセンター向け販売は好調に推移
- 欧州は子会社のやまびこヨーロッパが  
ゴルフ場管理機械大手メーカーである  
「The Toro Company」と協業契約を締結
- Toro社向けロボット芝刈機は今春より  
出荷を開始し順調な立ち上がり  
今後の成長ドライバーとして期待



テレビCMは全米の  
スポーツチャンネル等で放映



Toro社と共同開発する  
ロボット芝刈機

## ■ 中近東市場

- 中近東市場はOPEの需要拡大が続く  
高温な環境下でも安定して稼働する当社  
製品は価格と仕様の両面で高い評価
- 2025年4Q アラブ首長国連邦に販売会社  
を設立予定  
物流拠点を確保し、製品リードタイムの  
短縮による販売拡大と市場開拓を加速



アラブ首長国連邦ドバイでは  
大規模な都市緑化プロジェクトが進行

# ①事業規模拡大（産機・農林事業）

## 産機事業

- 「第7回 国際建設・測量展(CSPI-EXPO 2025)」に出展  
マルチハイブリッドシステムやコンセントボックスなど、  
現場の作業効率化に向けた各種ソリューションを提案
- 北米でのブランドを「Shindaiwa」から「ECHO」に統一  
ブランド認知度を活かした拡販に加え、ウェブサイトの  
拡張などにより顧客との接点と情報発信を強化



▲発電機に設置可能な  
コンセントボックス



▲ECHOブランドの発電機

## 農林事業

- ロボット芝刈機など当社製品5機種が、環境省の令和7年  
度「農業機械の電動化促進事業」の補助金対象機種に  
採択。国内農業の脱炭素化に向け、全国の農業現場にお  
ける電動農業機械の普及を後押し



ロボット芝刈機

電動高所作業機

電動作業機

## ②収益性の改善



「稼ぐ力」を高め、持続的な成長を確かにする

### ■ 拠点統合と生産最適化によるコスト削減

- 北米において、需要動向を踏まえた物流拠点の最適配置を実施するとともに、生産移管にも着手。拠点の有効活用と生産活動の効率化を進める。

### ■ 現地生産による地産地消型ビジネスの推進

- 北米における大型発電機の現地組立てを進めることで、各種コストの削減や新たな大手顧客獲得に向けた販売活動を推進

### ■ 部品内製化による収益改善

- 横須賀事業所にてチェーンソーのアクセサリーの製造を開始

### ③新規事業創造への取り組み

社会のGXを成長の機会と捉え、異業種を含むパートナー企業との共同開発により、新たな収益の柱となる開発に取り組む

#### マルチハイブリッドシステム 10kVAの販売開始

- ディーゼル発電機、蓄電池、パワーコンディショナーを組み合わせた環境配慮型の発電システムを6月に販売開始
- 資本・業務提携先の(株)アイケイエスと共同で、引き続き新たな発電・電源供給システムの開発に取り組む



#### i Labo株式会社との資本業務提携

- 既存のディーゼルエンジンを水素燃料で運転可能にする「水素化コンバージョン」技術を有するi Labo社と連携を強化
- 水素エンジン発電機の実証・量産化に向けた共同研究開発やビジネスモデル構築に向けた取り組みを推進



水素エンジン発電機の実証機を  
大阪・関西万博2025に出展

## ④ ESG経営の実践

# サステナブルとなるESG経営を実践し中長期的に企業価値を向上

事業活動を通じて、環境、就労人口不足などの社会課題の解決に貢献するとともにガバナンス体制の運用と深化、情報発信の充実に継続して取り組む

### Environment 環境



GHG排出量の削減目標を定め削減策を着実に実行



環境負荷の低い製品を開発・販売し市場の環境負荷低減に貢献



### Social 社会



多様な人材の活用に加え人材育成、社内環境整備など人的資本投資を継続



安全・安心なものづくりで作業事故を低減



農業・林業の次世代育成支援を通じて業界の発展に貢献

### Governance 企業統治



ガバナンス体制の運用と深化



ESG情報開示の拡充



情報セキュリティ体制の充実



## ④ ESG経営の実践

### ESG投資指数への選定

- ESG対応に優れた日本企業を対象とした投資指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に3年連続で選定



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

### 気候変動に対する取り組み

- 広島事業所の建屋屋上に太陽光パネルを設置  
発電した電力を当社が購入
- 支払いの一部を環境保全に取り組む団体に寄付する  
寄付型PPAサービスを導入



大切な人へ、そして大切な地球へ。  
**Present Tree®**

### 人的資本投資と拠点強化

- 次世代電源システムの共同開発拠点として、提携先の(株)アイケイエスに「京都ラボ」を開設  
技術者を派遣し、新規事業の創出を加速
- 多様な人材の確保と柔軟な働き方の実現に向け、新宿にサテライトオフィスを開設

京都  
やまびこ京都ラボ



東京

新宿サテライトオフィス  
※10月開設予定



## ⑤ やまびこのDX戦略

### DX戦略の着実な実行により企業価値向上を図る

デジタル技術の活用による中長期的な企業価値の向上を目指し、戦略に基づいた各施策を着実に実行していく。2023年4月には経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得。



#### 業務自動化

- 業務可視化/分析
- 業務プロセス標準化
- 業務自動化(RPA等)の活用

#### 経営革新

- 基幹システム改修
- 業務データ可視化

#### 工場革新

- 生産設備稼働情報の収集/分析
- 業務の最適化

#### 販売革新

- 販売/流通の最適化
- 新製品とサービスの販路構築

#### 新規ビジネス創出

- 脱炭素/環境保全/地域防災対応/就労人口の減少と高齢化等に対応する産機製品の遠隔稼働モニタリングサービスの拡充

生産性向上

競争力向上

選抜

やまびこ  
デジタル  
アカデミー

#### ■ やまびこデジタルアカデミー（社内留学）による人材の育成

- ▶ 全社より選抜した従業員を対象としたやまびこデジタルアカデミーの開講。約1年間の社内留学を通じて、業務改善に必要なビジネススキルやデジタルスキルを習得し、各部門の先頭に立ってデジタル活用を実践できる人材の育成を目指している。  
(3年間で15名を目標とし、2023年4名卒業、2024年6名卒業、2025年は5名選出)

全社員

デジタルリテラシー

#### ■ 全社員のデジタルリテラシー向上

- ▶ 業務効率化の推進に向け、RPA (Robotic Process Automation) やデータベース活用に関する社内勉強会を実施。2025年はさらにステップアップし、AI活用に関する勉強会を開催。
- ▶ ITツールの活用、DX入門等の基礎レベルの教育プログラムの受講による全社的なデジタルリテラシー向上を目指す。

# 4.業績・株主還元

## 米国関税政策の影響

- 当社は米国販売製品の大半を現地子会社で生産しているものの、サプライチェーンは日本を含む複数国にまたがっており、一定の影響を受ける米国の関税政策に対しては、2025年4月より以下の対応を推進中
  - ✓ 米国生産拠点の機能を最大限に活用すべく、生産移管計画を加速
  - ✓ 全社を挙げた更なる原価低減の推進
  - ✓ パートナー企業との連携によるサプライチェーンの最適化
  
- 8月8日の決算発表時点における関税政策（日本 15%）に対しては、価格対応や経費の追加削減により、影響を最小限とする計画
  
- なお、8月15日公表の鉄鋼・アルミニウム製品に対する50%の追加関税※の適用拡大については、影響の有無について精査中
  - ※製品・部品に含有する鉄鋼・アルミ材料の購入価格に対する課税

## 2025年12月期 通期予想

- 2025年12月期通期業績予想は、2025年5月13日に公表済みの業績予想から変更なし
- 足元の為替水準を踏まえ、3Q以降の想定レートを1USドル：145円（前回140円）、1ユーロ：165円（同160円）に修正

(百万円)	24/12期 実績		25/12期 予想		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年比 (%)
売上高	164,838	100.0	167,000	100.0	+ 1.3
売上原価	108,186	65.6	111,000	66.5	+ 2.6
販管費	37,014	22.5	37,500	22.5	+ 1.3
営業利益	19,637	11.9	18,500	11.1	▲5.8
経常利益	20,899	12.7	17,000	10.2	▲18.7
親会社株主に帰属する当期純利益	15,889	9.6	12,500	7.5	▲21.3

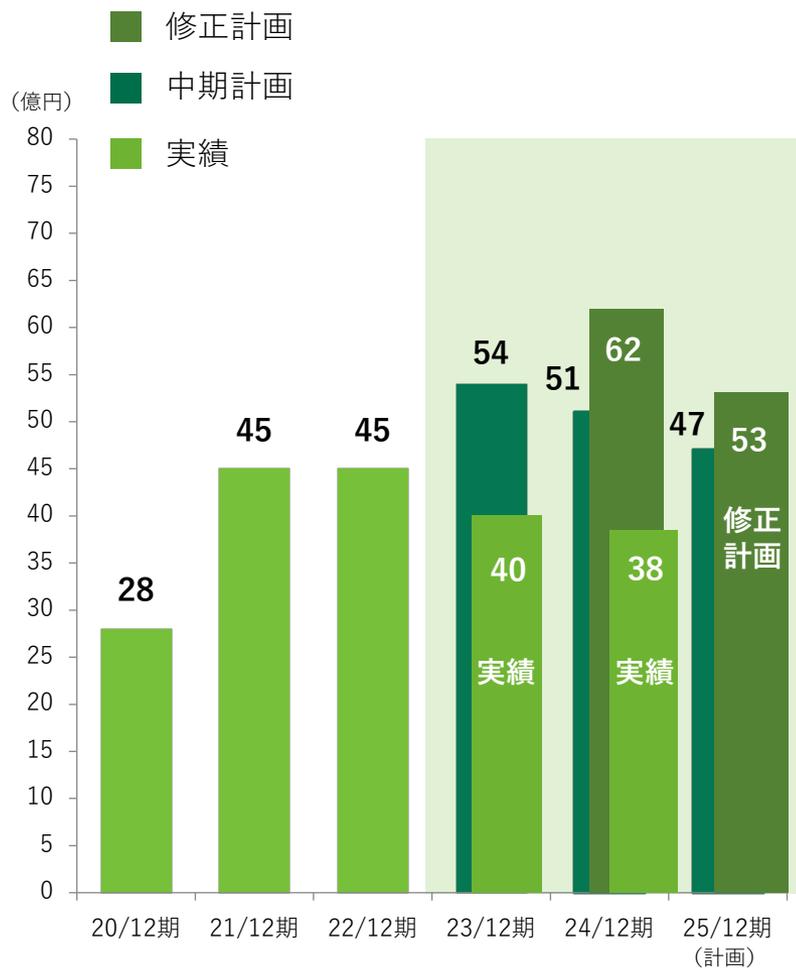
為替レート	24/12期 実績	25/12期 3Q-4Q予想	25/12期 通期予想※
1ドル	151 円	145 円	147 円
1ユーロ	164 円	165 円	163 円

※3Q以降を1ドル:145円 1ユーロ:165円と想定した場合の通期予想レート

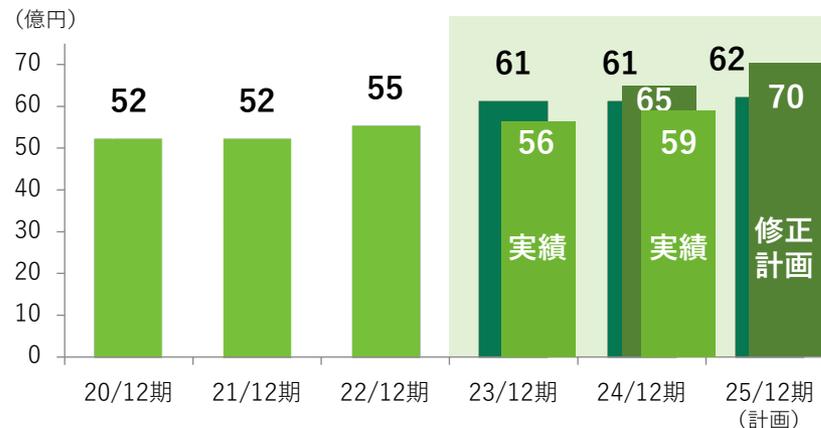
2025年3Q-4Qの為替影響 (1円変動 円安: + 円高: -)	売上高	経常利益
USD	± 3.5億円	± 0.3億円
EUR	± 0.6億円	± 0.6億円

# 投資計画（設備投資・研究開発費・減価償却費）

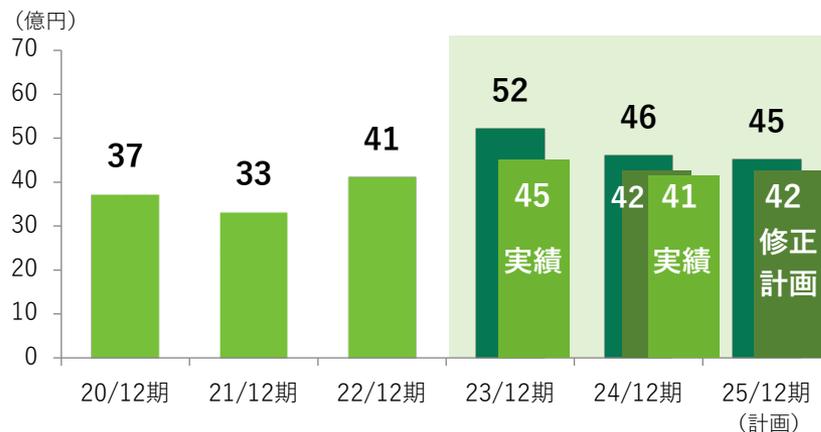
## 設備投資



## 研究開発費



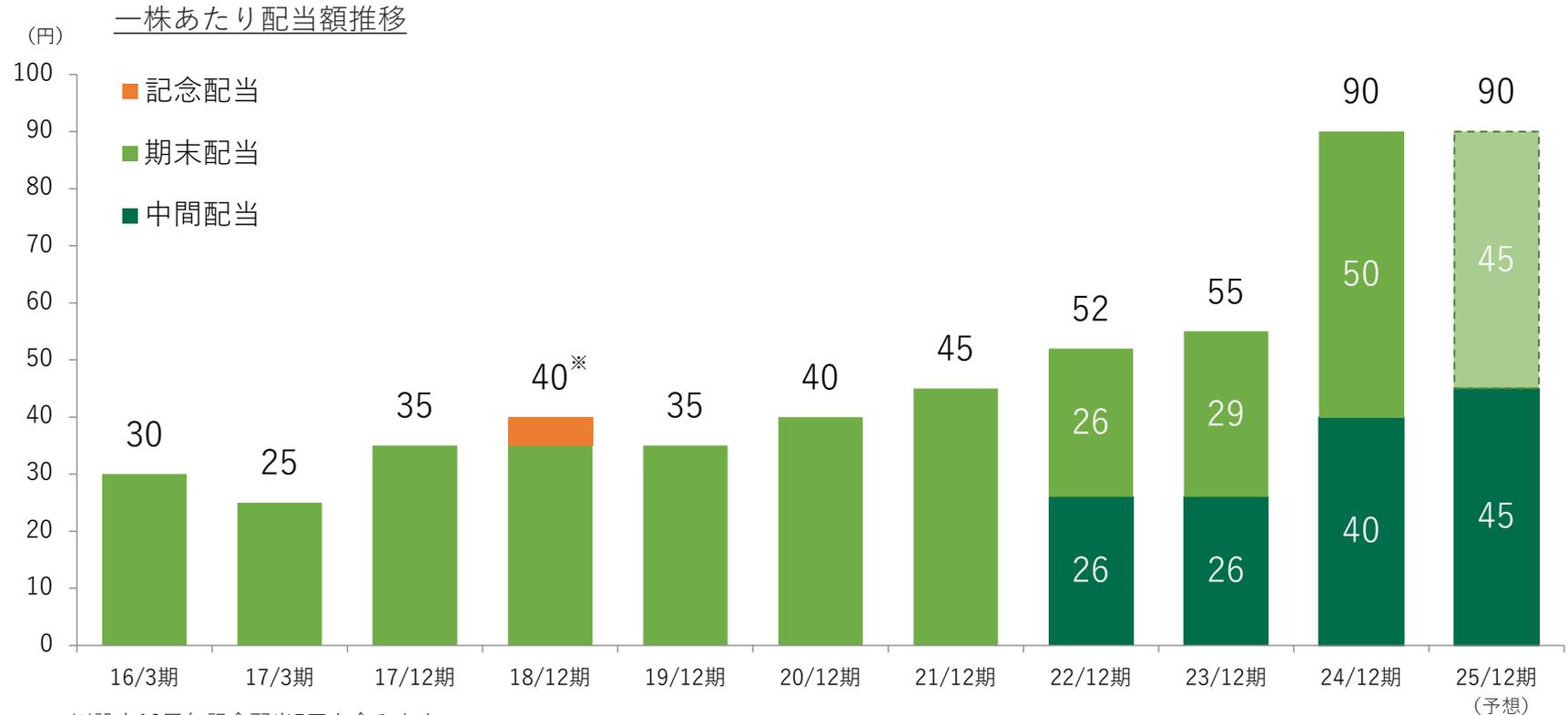
## 減価償却費



# 株主還元政策

## 過去の配当実績に基づき、安定的な配当を継続

- 経営環境や業績および財務状況を勘案するとともに、株式市場の動向も注視して総合的な還元策を検討
- 2024年に引き続き、自己株式取得を実施（2025年3月～5月にかけて40万株・約9億円を取得済み）



※設立10周年記念配当5円を含みます。

# 株価推移 (2009年～2025年9月3日)

9月3日時点：株価（終値）2,395円 / 配当利回り 3.76% / PER 7.85倍



1. グローバルに展開する屋外作業機器の総合メーカー
2. 主力の海外OPE事業は米国での強固な事業基盤とプロに支持される製品力を武器に中長期的な成長を見込む
3. パートナー企業と協力し新規事業創造を積極的に推進
4. 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置付け、企業価値向上に努める

